学校番号	403

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『書Ⅱ』（教育図書）						
副教材等	『書Ⅱ　プライマリーブック』（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅱではさらなる自己表現の幅を広げていきましょう。
・漢字の五書体から仮名に至るまですべての書体の書法を習得します。筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。
・芸術としての書を自身の表現として制作し、自分の気持ちや他の人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
・身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選んで表現し、芸術的な表現を高めることを目指します。
・書の長い歴史の中で培われてきた多様な書表現の作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。

⑴　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
⑵　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
⑶　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組んでいる。 ・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書道Ⅱに向けて	**書道Ⅱへの導入** ・金岡書道 金岡高校歴代の作品を鑑賞する。 ・人見知らんらん♪ 自己紹介を兼ねた作品交換	a：用具用材の特徴と表現効果の関りについて理解している。（知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現を身に付けている。（技） b：字形、文字の大きさ、全体の構成、効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：目的に応じた言葉の選び方を工夫している。（思） c：自身の表現の意図に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（態） c：主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。（態）	作品 ポートフォリオ	ワークシート プレゼンテーション	振り返りシート 観察 振り返りシート 観察

	甲骨文字から篆書へ	**甲骨文字の学習** ・甲骨文字とは 甲骨文字の誕生について知る。 ・100 文字甲骨 半紙への構成を意識しながら甲骨文字を 100 文字書くことで、甲骨文字に慣れる。 ・甲骨デザイン 甲骨文字から空間処理のインスピレーションを受けて、制作する。 ・甲骨動物物語 動物や自然の甲骨文字を用いて、自分なりのストーリーを持たせて制作する。 **篆書の学習** ・篆書の基本 自分の印でビフォーアフター ・臨書作品制作 ・泰山刻石 ・崔子玉座右名	a：甲骨文字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（知・鑑） a：甲骨文字の書体や線質と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。（知・鑑） a：甲骨文字の基本的な用筆・運筆の技能、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：甲骨文字の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。（表） b：甲骨文字の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：甲骨文字の特質に基づく表現や自身の意図に基づく表現のための幅広い学習活動に主体的に取り組んでいる。（表） c：甲骨文字のよさや美しさを甘受し、歴史的な価値について考えようとしている。（鑑） a：篆書の基本的な用筆・運筆の技能（蔵鋒、中鋒、水平垂直、左右対称、分間均等、等）、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：甲骨文字の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。（表）	作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート	観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察

	木簡から隷書へ	**木簡の学習** ・木簡とは 木簡の誕生について知る。 ・波動 GET！ 波磔の書き方を身に付ける。 ・カナオカンジ de い一感じ 金岡高校のいいところを漢字 1 字で木簡調に表現する。 ・原寸チャレンジ 木簡を原寸で臨書し、自分の制作意図に沿って表装する。	a：木簡の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（知・鑑） a：木簡の書体や線質と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。（知・鑑） a：木簡の基本的な用筆・運筆の技能、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：木簡の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。（表） b：木簡の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：木簡の特質に基づく表現や自身の意図に基づく表現のための幅広い学習活動に主体的に取り組んでいる。（表） c：木簡のよさや美しさを甘受し、歴史的な価値について考えようとしている。（鑑）	作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ	ワークシート	振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察

2学期	隷書から草書へ	**草書の学習** ・草書とは 草書の歴史的背景や書道史における位置づけについて知識を深める。 ・草書の基礎 草書の特徴について学び、リズム体操を通して運筆法を身につける。 ・書譜マラソン 即時的に筆順や字形を捉えるトレーニングを通して草書に慣れる。 ・書譜リレー 学年全員で一つの作品を仕上げる。他者の作品から自らを振り返る。 ・セレクト6!!!!!! A～F から選択して、半切 1/2 に臨書作品を制作し、相互批評会を行う。 A:『真草千字文』 B:『忽恵帖』 C:『国申文帖』 D:『中秋帖』 E:『離洛帖』 F:『自叙帖』	a：草書の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（知・鑑） a：草書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果について理解している。（知・鑑） a：筆圧の変化など草書の基本的な用筆・運筆の技能、連綿を含めた字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：書譜の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。（表） b：書譜の価値について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） b：自身の作品と他者のものを比較し、自らの改善点や全体の完成度についての考察を深めている。（思） b：自らの技術のレベルに応じた草書の古典を選択し、完成度の高い制作を工夫している。（表・思） c：草書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：草書のよさや美しさを甘受し、書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ	ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート ワークシート	観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察

	漢字創作	**五書体を使い分けた漢字一字書創作** 字典から自分の制作意図に合う書体を選択し、アレンジを加える。 ・線の変化のトレーニング ・字形の変化のトレーニング ・紙面構成のトレーニング ・相互鑑賞会	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、について理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果やについて理解している。（知・鑑） a：漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：筆圧や運筆のスピードを調節し、１本の筆で多様な線質の使い分けをする技術を身につけ、用筆・運筆、字形、潤渇、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：漢字の書のよさや美しさを甘受し、書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） c：他者の作品を鑑賞し、自らの作品や制作過程を振り返る機会を持とうとしている。（鑑）	作品 ポートフォリオ	ワークシート プレゼンテーション	振り返りシート 観察

	漢字仮名交じりの書	伝わる de 書 ＃修学旅行＃つぶやく 他者に「伝える」ことを目的とした作品制作。 日常に即した高校生のリアルな感性を言語化し、既習の創作における工夫（線質、字形、紙面構成）をふまえて制作する。 ・相互批評会 ・校内展示	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。（知・表） a：顔彩を用いた目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（技） b：漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：創造された作品の価値について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品 ポートフォリオ	ワークシート ワークシート	振り返りシート 観察

3学期	仮名の書	**仮名の学習** ・仮名文字の復習 前年度に学習した仮名文字の書体の変遷、平仮名、片仮名の成立、草仮名や万葉仮名、変体仮名について復習する。 ・仮名の線の復習 連綿をはじめとする仮名の基本的な用筆について復習する。 ・色紙の色香 寸松庵色紙と升色紙 ２つの色紙における線質や紙面構成について学習する。	a：日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。（知・鑑） a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（知・鑑） a：仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。（技） b：仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。（表） b：仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：仮名の書のよさや美しさを甘受し、書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ 作品 ポートフォリオ	ワークシート ワークシート	振り返りシート 観察 振り返りシート 観察 振り返りシート 観察

	鑑賞	**現代の書とは** 近現代の書作品を取り上げて作品の背景や作者、また書表現における表現の多様性や書と美術の関りなど個々に設定したテーマに沿ってについて調べ、芸術における書の位置づけについて考察を深める。 ・プレゼンテーション ・ディベート ・相互鑑賞会	a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（知・鑑） b：生活や社会における書の効用について理解している。（表） c：自身の表現の意図に基づく表現、書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c：書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	プレゼンテーション ディベート ポートフォリオ	ワークシート グループワーク プレゼンテーション	振り返りシート 観察

	自由作品制作	**仕上げの書** 2年間の集大成としての作品を制作する。 臨書(楷書、行書、仮名)または創作(漢字、仮名、漢字仮名交じりの書、その他鑑賞の授業で受けた影響による)から自らが表現したいテーマに適したジャンルを選んで制作する。サイズは最大で半切までとし、自由に組み合わせる。 ・作品解説 臨書作品は、選択した古典について調べる。創作については自らが表現した作品テーマについて解説する。 ・相互批評会	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知・表） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（知・鑑） a：漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。（技） b：漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫している。（表） b：漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（表） c:漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑） b：２年間の集大成としての自らの表現を工夫している。（表） C：互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。（鑑）	作品 ポートフォリオ	ワークシート ワークシート ワークシート	振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度